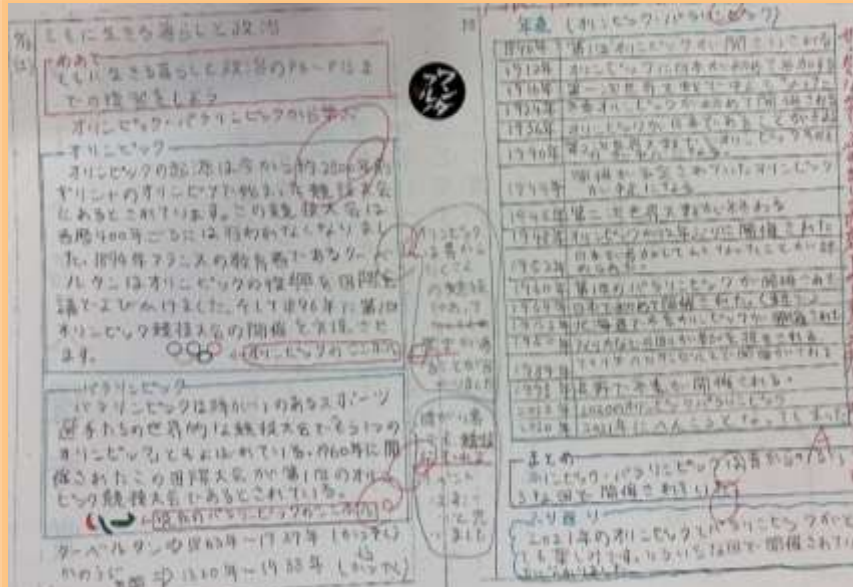


# Yell ～絆を深めて Keep Smile～

第20号 令和2年6月17日(水)

## 分散登校特集：自学名人！②～学習を楽しむ子ども達から



「自学ってしないといけないのですか？」  
先日このような質問がありました。

保護者の皆様、私達はお子様**が学習の習慣をつけることを応援したい**と考えています。

しかし、発達段階の子どもたちにとって、未知の世界を理解するのは難しいことです。

自学は中学校に行くまでの準備です。自分で計画して学習を進めていく力をつけるために必要なことです。

## 「なければならぬ」から「とりあえずしてみよう」へ！

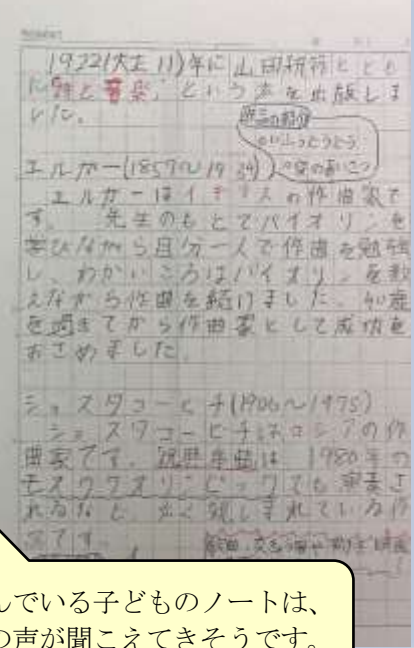
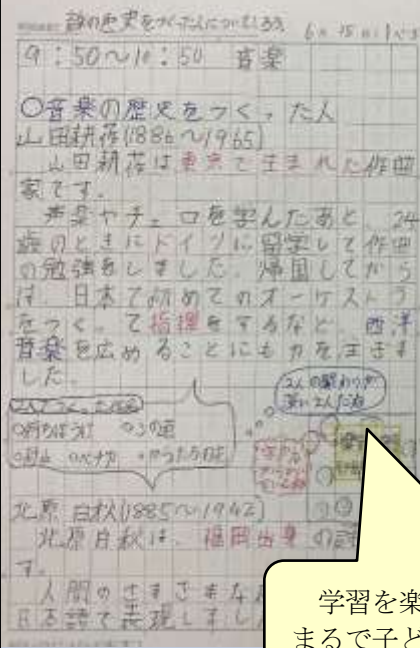
昨日もお伝えしましたが、受け身であると学習意欲もどんどん減退し、やる気が無くなってしまいます。

そこで発想の転換！相手に**教える(アウトプット)**することで、**学習したことがより定着する**ことを目的にしてみたいかがでしょうか？

お子様のノートを見ると、楽しみながら学んでいるノートは一目瞭然です。

「やってみたい！」

まずは好きなテーマで始めてみましょう。



学習を楽しんでいる子どものノートは、まるで子どもの声が聞こえてきそうです。

# 新しい環境で学ぶ方法を見つけよう!



写真を見てお気づきになったことはありませんか?

実は、ほとんどのシーンは、書くことがメインになっているのです。

「最近子どもたちのノートが、どんどんきれいになっていくよ。」

授業から帰ってきた校長先生が、つぶやいていました。今の状況では、従来の学習方法をとるのが難しくなり、書くことが中心になっているのです。

## 「主体的・対話的で深い学び」

これは新しい学習方法なのですが、この中の「対話」というのが難しくなりました。

だったら? ということで逆転の発想。

私達は、「聞くこと」「書くこと」で対話できるような学習になるよう模索しています。

では、どのようにすれば、「対話」できるのでしょうか?



## まずは「理解」そして「書くこと」によって対話をする授業を!



人は、視覚的な情報で90%以上のことが理解できる、というデータもあります。

佐伯先生は実物を持ってきて提示しています。このように具体物を伴えば、学習内容が一目瞭然に理解できます。

次に、感じたことをノートに書きます。この時大切なことが「アウトプット」です。では、何をすればよいのでしょうか?

## 「吹き出し」などの自分の考えを書くことです。

吹き出しを書くと、自分の考えを友だちに伝えるような気持ちになるのです。



お互いのノートを見合ったり、教師が紹介したりすることで、新しい形の対話が成り立ちます。

今は自分の思いを文章にして伝える絶好のチャンスです。

「△△しなければならない」「△△できない。」の考えから

「〇〇でやってみよう」「〇〇ならできそう」とポジティブに考えることで、この難局を乗り越えていこうと考えています。